

無痛分娩合併症マニュアル(抜粋)

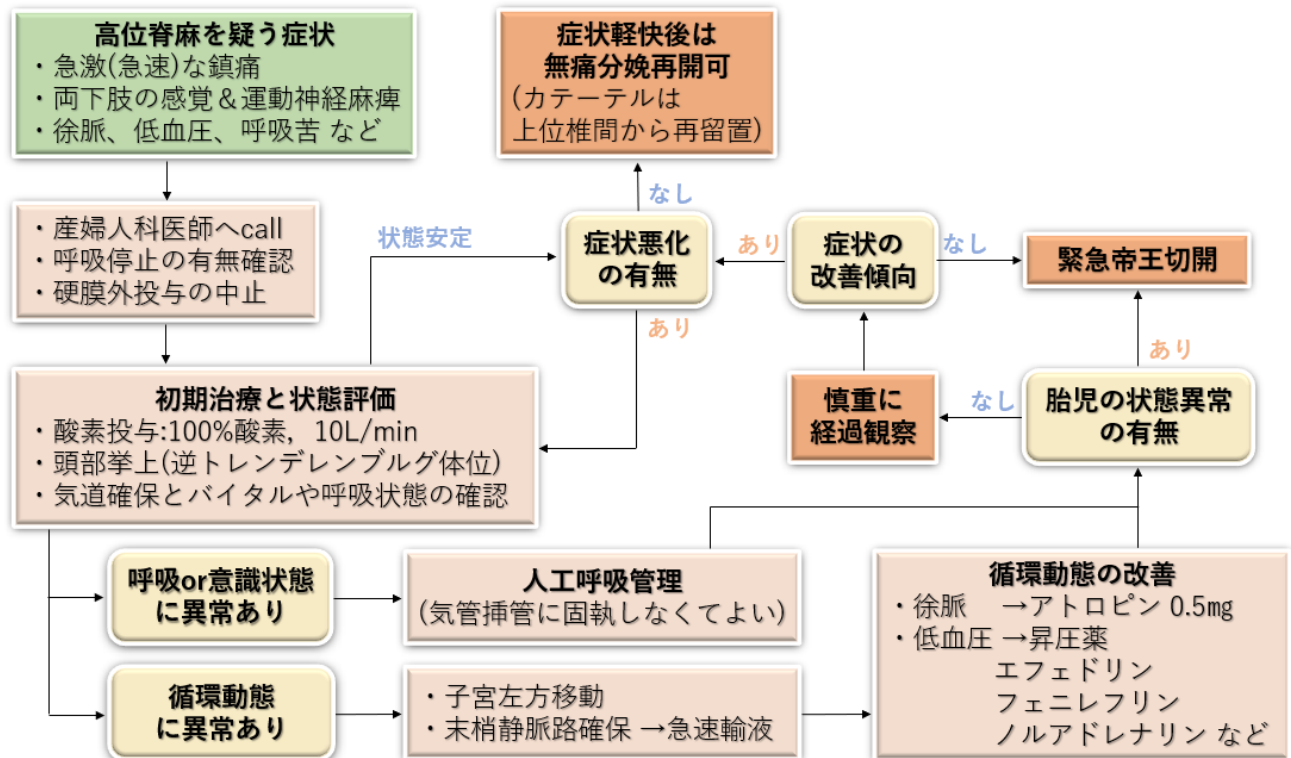
承認日

2025 年 7 月 1 日(第 2 版)

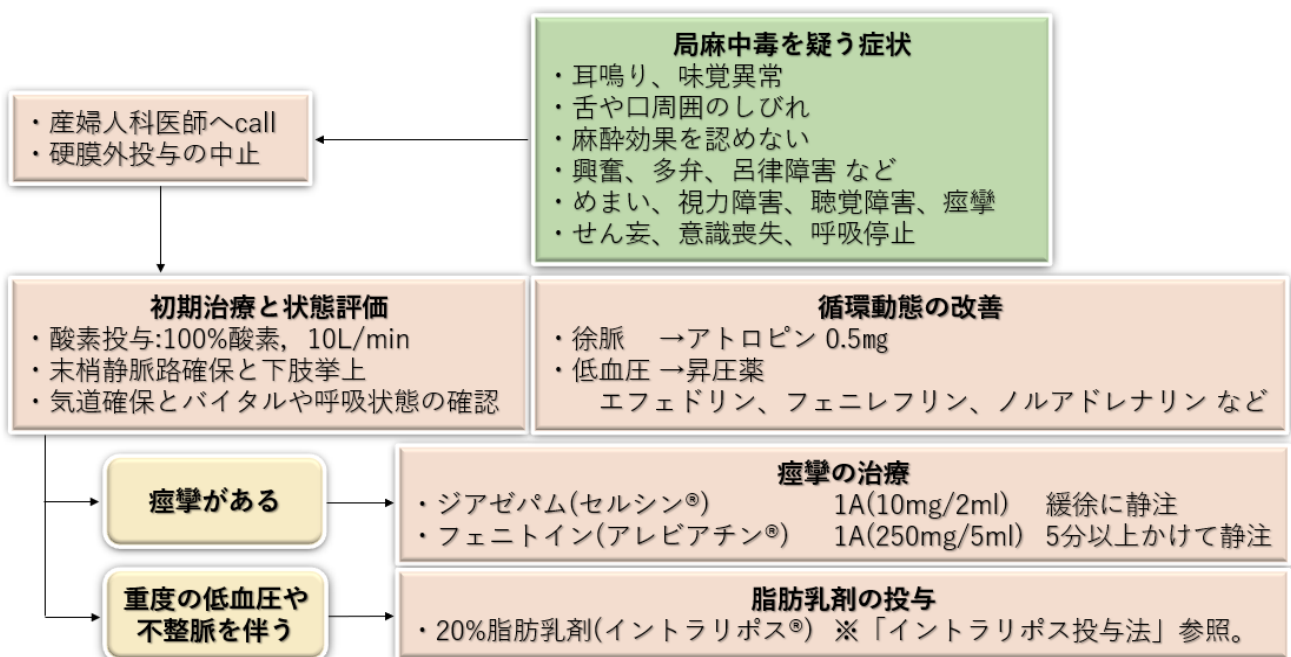
作成者

高橋 賢司

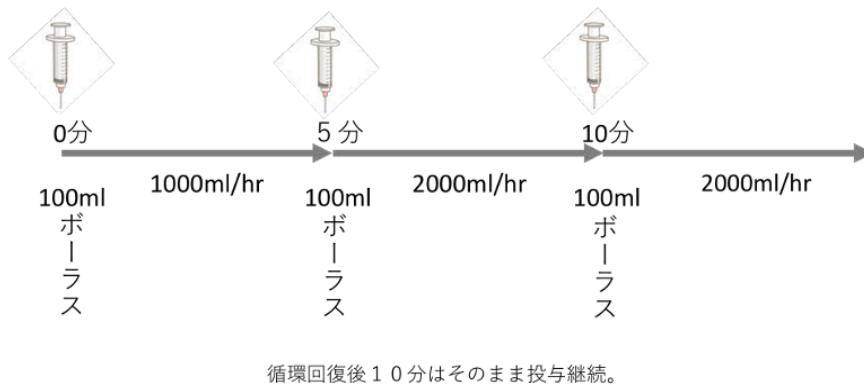
1. 全脊髄くも膜下麻酔対応マニュアル



2. 局所麻酔中毒対応マニュアル



イントラリポス投与法



初回 100ml を 1 分かけて投与
↓
1000ml/h で持続投与を開始
↓
5 分後に循環の改善なければ
持続投与を 2000ml/h へ増量し
再度 100ml を 1 分かけて投与
↓
さらに 5 分後も改善なければ
再度 100ml を 1 分かけて投与

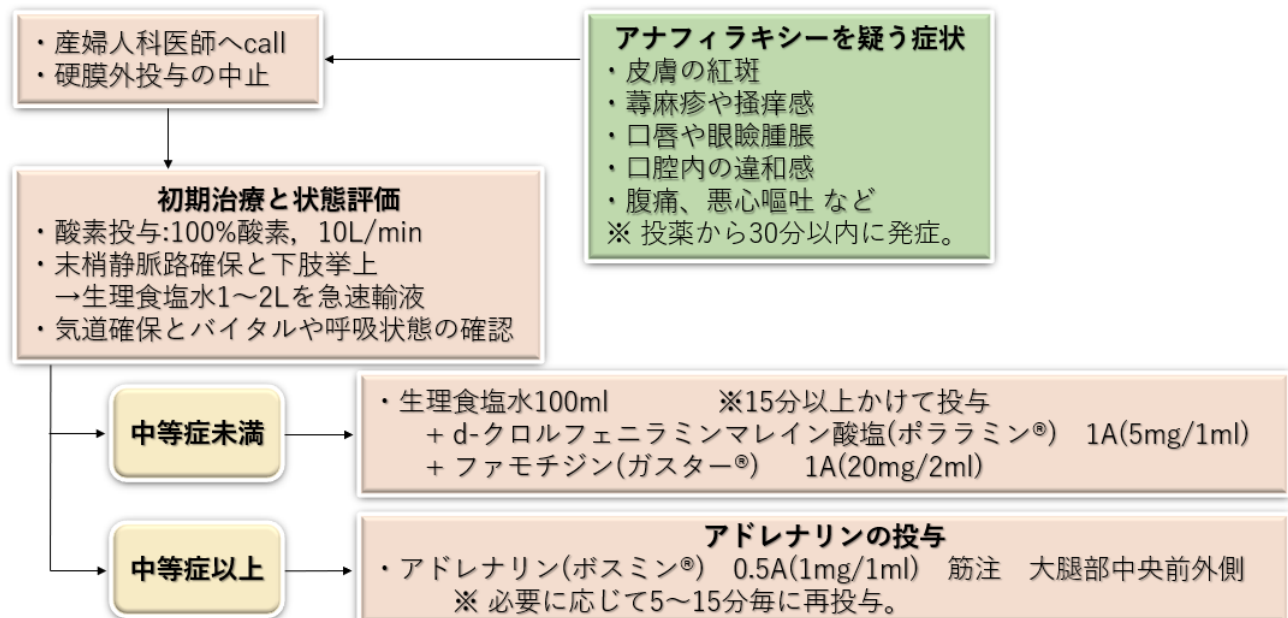
※ ボーラス投与は 3 回が限度。

※ 最大投与量の目安は 12ml/kg。 (投与開始から約 15～20 分ほど)

※ 多くは 10ml/kg 以下での組成が報告されている。

※ 循環の回復・安定後も、さらに 10 分間は脂肪乳剤の投与を継続する。 (流量は減量する)

3. アナフィラキシーショック対応マニュアル



無痛分娩合併症マニュアル(抜粋)	承認日	2025 年 7 月 1 日(第 2 版)
	作成者	高橋 賢司

《アナフィラキシーの重症度評価》

		Grade1(軽症)	Grade2(中等症)	Grade3(重症)
皮膚・粘膜症状	紅斑・蕁麻疹・膨疹	部分的	全身性	—
	掻痒	軽い(自制内)	強い(自制外)	—
	口唇や眼瞼腫脹	部分的	顔全体	—
消化器症状	口腔内や咽頭症状	痒みや違和感	咽頭痛	—
	腹痛	弱い	強いが自制内	持続・自制外
	嘔吐・下痢	単回嘔吐・下痢	複数回嘔吐・下痢	反復嘔吐・便失禁
呼吸器症状	咳嗽・鼻炎症状	間欠的咳嗽・鼻炎	断続的咳嗽	犬吠様咳嗽
	喘鳴・呼吸困難	—	聴診上の喘鳴	喘鳴・呼吸困難
			軽い呼吸苦	チアノーゼ SpO ₂ ≤ 92% 嚔声・嚔下困難
循環器症状	脈拍・血圧	—	頻脈 軽度血圧低下	不整脈・重度徐脈 血圧低下・心停止
神経症状	意識状態	元気がない	眠気・軽度頭痛	不穏・衰弱 失禁・意識消失
治療	抗ヒスタミン薬	必要に応じて	○	○
	気管支拡張薬(吸入)	—	○	○
	ステロイド	—	必要に応じて	○
	アドレナリン	—	必要に応じて	○

※ 重症度評価は、最も症状 Grade の高いものを基準とする。

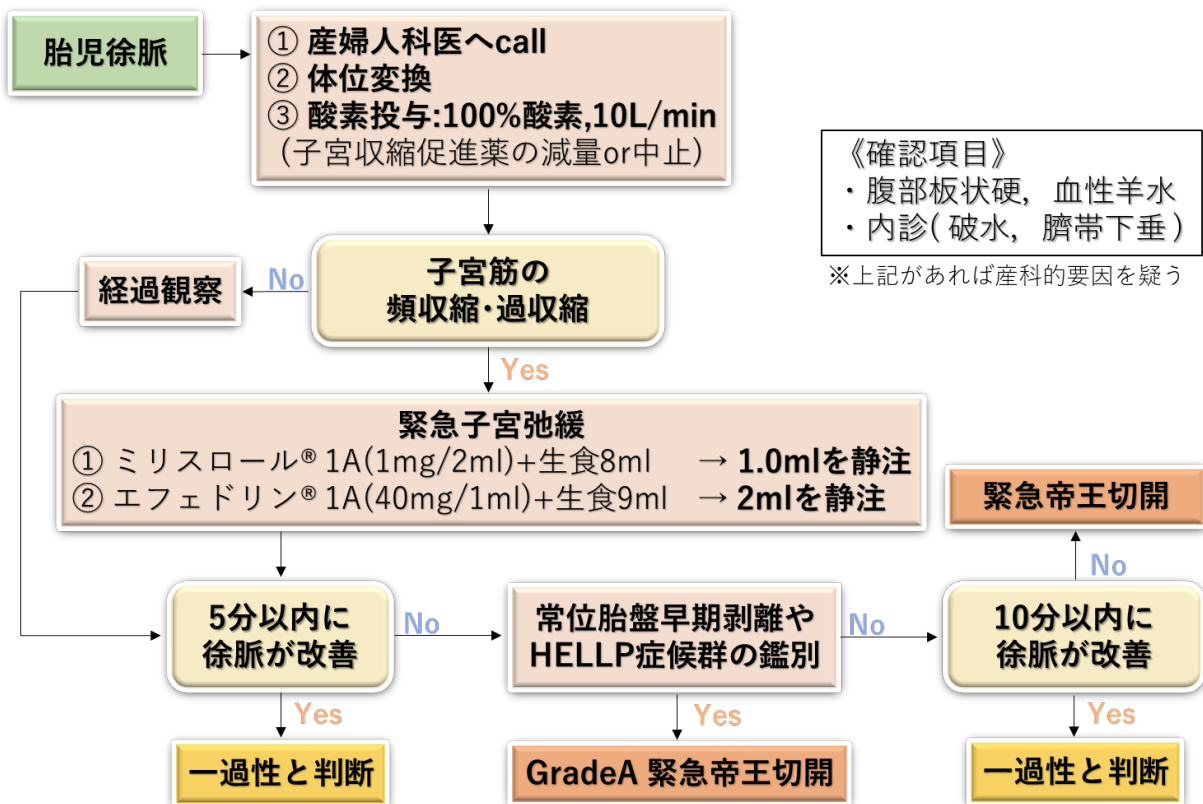
※ Grade1 の症状が複数あるのみの場合は、アナフィラキシーとは判定しない。

※ Grade3 を含む複数症状 or Grade2 以上の症状が複数ある場合はアナフィラキシーと診断する。

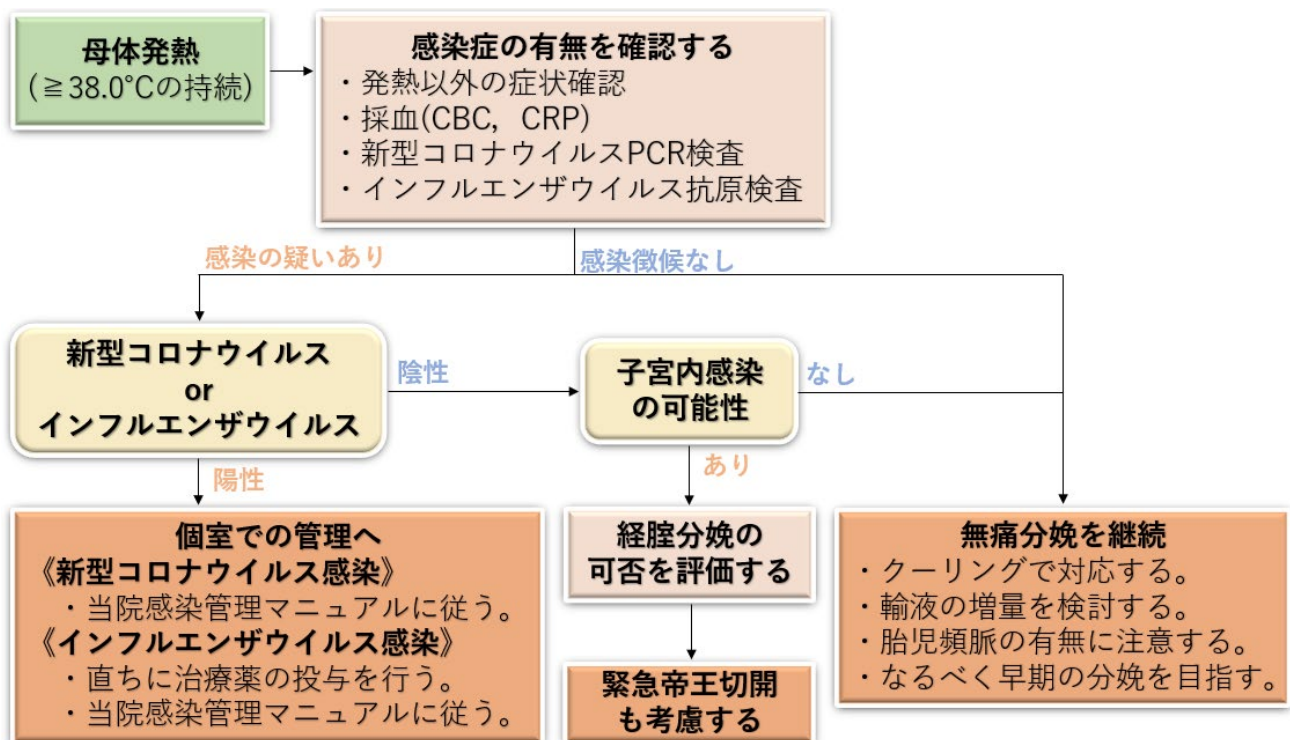
※ 重篤なアナフィラキシー既往がある場合は、Grade2 でもアドレナリン筋注を考慮する。

※ 軽度血圧低下：収縮期血圧 < 100 mm Hg、血圧低下：収縮期血圧 < 90 mm Hg

4. 硬膜外鎮痛導入直後の胎児徐脈への対応マニュアル



5. 硬膜外鎮痛導入後の発熱や掻痒感への対応マニュアル



無痛分娩合併症マニュアル(抜粋)

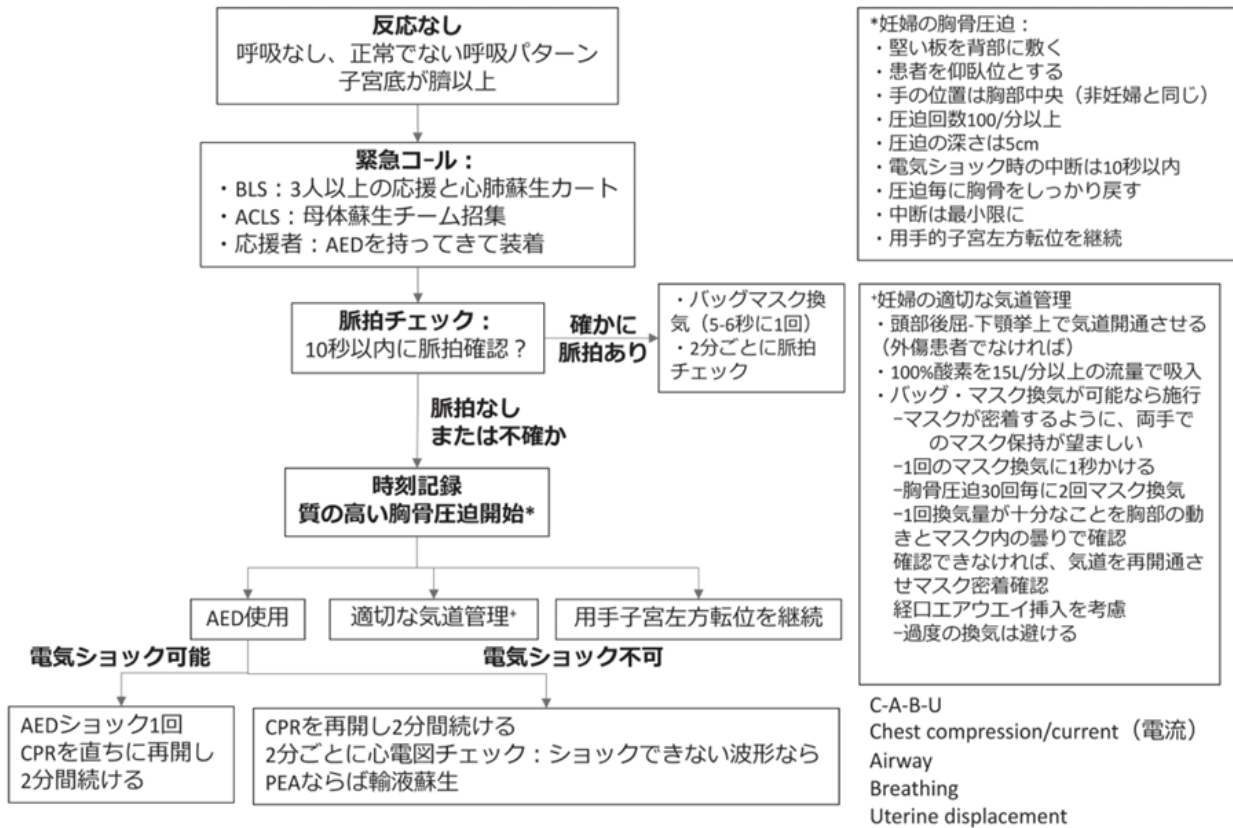
承認日

2025 年 7 月 1 日(第 2 版)

作成者

高橋 賢司

6. 妊婦の BLS(フローチャート)



7. 妊婦の ACLS(フローチャート)

